



つなぐつづけるつくりだす「エコなミライへ」 品川区立環境学習交流施設「エコルとごし」



今年5月1日、自然豊かな戸越公園内に、環境について楽しく学べる憩いと交流の場として、エコルとごしがオープンしました。環境保全を通じて、区内はもとより他地域ともつながる交流拠点を目指しています。

地球環境にやさしい公共施設

「品川区環境基本計画」に基づく施設として開設

地球温暖化による影響が年々顕著となる中、品川区では区の地域特性や環境課題などを踏まえ、平成30年3月に「品川区環境基本計画」を策定しました。この計画では、将来像「みんなで創り育てる環境都市」の実現を目指すた

め、5つの基本目標と重点プロジェクトを掲げ、重点プロジェクトの1つ「学びと体験の機会の充実」を担う施設として、エコルとごしが開設することとなりました。キャッチコピーの「つなぐつづけるつくりだす」には、品川区における環境保全に対する取り組みなどの資源と資源を「つなぐ」、「つづける」（持続可能とし）、「つくりだす」（魅力やにぎわいを創り育てる）との意味があります。

省エネと創エネを実現した「Nearly ZEB」認証建築物

エコルとごしは、都内公共建築物で初めて「Nearly ZEB」の認証を取得しました。「ZEB」とは「Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）」の略称で、使うエネルギーを減らす「省エネ」とエネルギーをつくる「創エネ」を組み合わせ、年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建築物です。削減率により「ZEB」（100%以上）、「Nearly ZEB」（75%以上）、「ZEB Ready」（50%以上）、「ZEB Oriented」（30%以上）の4種類があり、エコルとごしは上から2番目のランク

「Nearly ZEB」です。竣工時点で従来の建物と比較して91%のエネルギー量の削減が見込まれています。具体的な取り組みには、太陽光発電設備（1日当たりの発電量が一般家庭約11世帯分）、蓄電池（夜間及び災害時の電力供給に使用。一般家庭約6世帯分）、LED照明＋昼光感知器＋人感センサー（蛍光灯と比較して約70%の電力使用量削減）、地中熱利用（安定した地中熱を空調設備に使用することで空調負荷を軽減）などがあり、その他にもトイレの洗浄水に雨水利用、夏場の室温上昇を防ぐ壁面緑化など省エネにつながる建築がされています。



エコルとごし
HP: <https://ecoru-togoshi.jp/>



住所：東京都品川区豊町 2-1-30（戸越公園内）
開館時間：7:00～21:30（貸室のご利用は9:00～）
＊3F 展示室、菜園デッキ
1F キッズスペースは9:00～18:00まで
休館日：第4月曜日（祝日の場合は開館し、翌平日休）、
年末年始（12/29～1/3）



屋上に設置した288枚の太陽光発電パネルは、区有施設で最大規模

◆SDGsの目標達成のため、今私たちができることを考える体験型展示

映像展示

「バランスプラネット」と「いきものタッチ」

環境を学ぶための体験型展示は3階にあり、地球温暖化対策をメインテーマとしています。3つのエリアに分かれ、その1つがこの施設で目玉となる映像展示。小学生以上におすすめの「バランスプラネット」と未就学児におすすめの「いきものタッチ」の2種類があり、タイムスケジュールに沿って上映されます。「バランスプラネット」では「オサエルハウス」（水の使

いすぎなど日常生活における欲望を抑える）、「メガラスタミナル」（資源はリサイクルする）、「ウミダスファクトリー」（再生可能エネルギーを生み出す）の3つのステージを体験し、都市で生活しながら自然環境を守るために大切なこと（都市と自然のバランス）をゲーム感覚で学びます。空間全体に映し出された映像にタッチし、腕につけたバランスバンドにパワーが溜まる仕組み。楽しく遊びながら学べるようになっていきます。「いきものタッチ

チ」は空間全体に大地と水の中という2種類の自然界を映し出し、草花や生き物にタッチすると花が咲いたりカエルが飛び跳ねたり。映像が動くことでふれあいの疑似体験をし、動植物を大切にすることを育むことがねらいです。



いきものタッチ



バランスプラネット



常設展示

「トイカケのジカン」

ここでは1秒、1日、1年、10年という「時間」を切り口に、自分の行動が環境にどのような影響を与えているのかを考えます。「1日」の生活シーンを振り返り、たとえばゴミ出しや洗濯などで環境のためにできることは何か、四季のある日本の「1年」が地球温暖化による気候変動で変わってしまったショッキングな未来の姿など。展示はクイズやパズル形式のものが多く、解説パネルには具体的な区の取り組みや環境課題などが網羅されているので、楽しみながら新たな知識と気づきが得られます。



メッセージ展示

「ミライのタネ」

常設展示からの流れとして「100年」がテーマ。来館者が施設で体験したことを振り返り、「100年後のために今できること」、「100年後の品川区やまちの姿がどうなっていてほしいか」などを考え、カードへ自由に書いて投函したものを展示しています。環境について学んだことを表現することで記憶に残し、それを読んだ人が思いを共有するコーナーです。「雨水を使うなど工夫された町になってほしい」、「食べ残しを減らしたい」など、たくさんのメッセージが寄せられています。



◆公園の自然を感じながら、憩い、交流する

木の香漂うラウンジで 思い思いの時間を過ごす

1階のコミュニティラウンジは、目の前の公園との一体感がある広々とした空間で自由に過ごせる憩いと交流の場です。床、壁、一部家具には品川区と交流・連携する自治体の木材と、地産地消の観点から東京都の多摩産材を使用しています。床全体に天然のスギ材が敷き詰められているので、清々しい木の香りが漂い、癒されます。



桜、新緑、紅葉と、一年中戸越公園の豊かな自然を満喫できるコミュニティラウンジ

ラウンジは朝7時から夜9時30分まで開いており、朝の時間帯には公園で体操する人や出勤前のビジネスマン、

日中には公園の散歩途中に立ち寄って休憩する人やベビーカーを引く小さなお子様連れ、お昼すぎから夜にかけては小学生や勉強する高校生や大学生の姿が見られるなど、1日の中で利用者の層が変化します。幅広い世代の方が集い、空間を共有しながら、それぞれが快適に利用しています。

ラウンジの一角には戸越エリアのおすすめスポットや環境に配慮した地域の取り組みなどを紹介する掲示板「戸越みどころマップ」、さまざまなテーマで期間を区切って開催する「企画展示コーナー」、環境に関する書籍の紹介やイベントで制作した作品を展示する情報コーナー「環境シエルフ」などもあります。現在100冊ほどある書籍はラウンジ内で閲覧できます。

また、ラウンジではイベントを開催することもあり、オープンな空間に多くの人が集います。

親子でゆつくり遊べる キッズスペース

コミュニティラウンジの奥は、0歳から3歳までの利用を想定したキッズスペース。品川区内の風景がカラフルなイラストで壁一面に描かれていて、電車や船、魚などの形をしたクッションや色とりどりのマグネットを、壁にはめ込んだり、壁に付けたりして遊べる「しながらパズルウォール・マグネットウォール」が人気です。あたたかみのある木のおもちゃや絵本も用意されており、親子で遊びながらゆつくり過ごせます。キッズスペースの横には給湯器とベビーベッドを備えた授乳室、子ども用の手洗い場などが併設されているのも安心です。ベビーカーで来館するリピーターが多く、休日はベビーカー置き場が満杯になることも。赤ちゃんのときはキッズスペースで、4歳になったら「いきものタッチ」、小学生になったら展示全般を体験するなど、子どもたちがエコルとごしと共に時間を過ごし、成長してくれることを願っています。



戸越公園にもともとあった遊具エリアに新設したすべり台



「きれいで使いやすい」と好評なキッズスペース

遊具広場があり、砂場とすべり台が設置されています。ローラー式のゆるやかなすべり台は、施設を訪れた子どもたちにはもちろん、戸越公園が散歩コースの幼稚園児や保育園児にも人気です。

区民活動と環境保全活動の拠点としてさまざまなイベントを開催

幅広い活動に利用できる
地域交流室と
ボランティア室

多目的スペースでは
主催事業の開催や
各種見学の受入れを実施

建物の2階には地域交流室とボランティア室があり、幅広い活動の拠点となっています。

地域交流室は町会・自治会の会合、衣服のリメイク活動など、地域の活動の場として貸室（定員27名）利用が可能。ボランティア室はエコルとごしのボランティアが準備室として使うほか、品川区に登録する環境保全活動者が使用できます。ボランティアは高校生から70代まで現在27名の登録があり、それぞれの得意分野を活かしてイベントや菜園の運営等で活躍しています。



地域交流室



ボランティア室



多目的スペースで行われた
マシンガンズ滝沢秀一氏による講演会

開設前のプレイイベント 「戸越公園の木を未来に つなぐワークショップ」



開設前となる3月、隣接する戸越小学校を会場にエコルとごし建設時にせん定した戸越公園の木を使ったワークショップを開催しました。参加した子どもたちは木材利用の大切さなどを学んだあと、グループに分かれて作品づくり。作品の一部は「環境シェルフ」に展示しています。

レゴブロックで体現する「SDGs x レゴワークショップ」、気象予報士によるお天気実験教室など。時には、施設を出てしながら水族館など品川区立の施設と連携したアウトリーチ型講座も開催されます。今後のイベントとしては戸越公園内で開催する「キャンドルナイト」、品川用水を巡るツアーなどを企画しています。また多目的スペースは、区内小学校・義務教育学校の社会科見学受け入れ時のオリエンテーションや昼食場所としても利用されており、今年度は約20校の受け入れを予定しています。全国からの視察も既に多くのお問い合わせがあり、随時受け入れを行っています。

ボランティアを中心に
菜園デッキでガーデニング

また、多目的スペースの窓側に隣接した菜園デッキでは、ボランティアが中心となって野菜やハーブを栽培。ゆくゆくは、ここで育てた植物を使った色染めのワークショップなど、菜園活動を次の活動につなげることを目標としています。



菜園デッキ